

NEWS LETTER



NO.22

2005.10.30

発行：にほんごひろば岡本

〒658 - 0003 神戸市東灘区本山中町 4 - 18 - 22

☎078 - 453 - 5931

<http://www.kabto-yama.ac.jp/hiroba/>

にほんごひろば岡本

ていねいな日本語

習いたる 日本語どれも ていねいで 馬鹿にされると マイケル こぼす

長年カナダに在住し、大学で日本語を教える鷗沢 梢さんの1首である。

正しい美しい日本語を学んだ教え子が日本に留学して大変戸惑った様子がメールで届けられたのだろうか。

最近の若者言葉には我々も辟易することがある。かつて小生も会社の新人研修を担当しビジネスマナーと共に尊敬語・謙譲語・丁寧語の指導に苦慮したことを思い出す。

過日、雨上がりの夕方のバスの中での出来事。下校中の6人の男女中学生の一団が乗り込んできた。男子生徒の2人が途中のバス停で先に下車。そのうちの1人が傘をバスの中に置き忘れたままのようであった。次のバス停で残り全員が下車。友達の忘れた傘に気付きながら車内に放置したまま下車した姿には唖然とした。

人の世話にもならず、相手のためにも何もしない友達甲斐のない若者が増えている。彼らの会話も世間話や当たり障りのない娯楽番組などの話題が主流で何事にも深

入りしない傾向が強く丁寧語など存在しない。禁じられているはずの車内でも携帯電話で乱れた日本語が飛び交う場面に出くわすことがある。

貧しい時代は却って心は豊かで正しい美しい日本語が語られてきたのだが、豊かになった現代、丁寧な日本語はどこに行ったのだろうか。豊かさが心の貧しさを生み出したのだろうか。

互いに相手の立場や気持ちを察して理解を深め、必要な時には自分を犠牲にしても相手に尽くす優しさは日本の誇るべき文化と言われてきた。

「衣食足りて 礼節を知る」という教訓を復活させ、マイケル君が愚痴をこぼさないような社会にしたいものです。

(黒岩元晴)



「にほんごひろば岡本」総会報告

2005年度（第6回）総会が6月11日（土）に開催されました。

2004年度活動報告、会計報告に続き、2005年度の予算案、活動方針案が承認され新体制が決まりました。



<新役員の紹介>

代表：西村佳子、

副代表：下田美津子、竹中興時、

会計：関野聡美、

会計監査：黒岩元晴、古家峰子、

運営委員：市川邦子、井畑真理子、坂本喬子、橋本桂子、古瀬尚子、
松見和代、宮武寿美雄、吉田加代子、四本裕、渡辺映子

<活動内容>

- (1) 日本語学習支援
- (2) 児童・生徒への教科学習支援
- (3) ニュースレター発行（年3回）
- (4) 日本語教育ワークショップ&支援者交流会
- (5) 未経験支援者に対する助言・指導などの活動
- (6) 日本語学習支援者ステップアップ講座
- (7) 交流イベント（お花見、七夕会、バーベキューパーティー、クリスマス会）
- (8) 日本語スピーチ大会

気負わず、気長に、楽しく！地域のボランティア教室ならではの活動を続けていくことを確認しました。（代表：西村佳子）

みんなで楽しくステップアップ！

今年も現役日本語講師によるステップアップ講座を開催します。

10月29日（土）から11月26日（土）までの土曜日午後1:30～3:30（全5回）

『みんなの日本語初級』第33課～37課を1課ずつとりあげます。

内容説明の後ペアを組んで例文作成をしたり、場面を想定した会話を作って実演してもらうなど、参加型の実践的な講座です。

最終回の11月26日には、終了後に支援者交流会を予定（1時間程度）しています。

お茶を飲みながら、支援上の悩みや疑問などざっくばらんに話し合ひましょう。

下田美津子先生も参加して相談に乗ってください。悩み、疑問を解消してすっきり！今後の学習支援に新しい力が湧いてくるような会にしたいと思っています。

しえんしゃ がくしゅうしゃしょうかい
支援者・学習者紹介

今回は新しい支援者三人にそれぞれの学習者の紹介を兼ねて、自己紹介をしていただきました。

山中寿子さん

クオックさん (ベトナム出身・男性)

社会参加できることの喜び

私事ですが、1年間に3回の手術を受け、長い入院生活を余儀なくされた日々、社会から取り残された思いでしたが、少しずつ良くなるにつれ、入院中、数知れず多くの方々のお世話になり何とか社会に復帰しお返ししなければ・・・と思っていた矢先、婦人大学で「にほんごひろば岡本」の大先輩である吉田加代子さんと出会いのご縁を頂き、また代表者の西村先生にお世話を頂いて、日本語セミナーを受講、その後、「にほんごひろば岡本」に籍を置かせて頂くこととなり、私の生活は一変し、充実した日々を過ごすことが出来、深く感謝致しております。

今、私の学習者はベトナム人のクオックさん。



彼は、来日して3年半、神戸大学の留学生です。大学では遺伝子の研究、毎日、実験

などで大忙し、将来は博士号を取得し、お国へ帰っても、日本とベトナムの橋渡しになりたいと言っています。彼は、とても優秀で真面目な好青年で日本語を覚えたいと言う意欲が私にも伝わり、学習にも熱が入ります。

50 数年意識することなく使っている日本語、今、正面から向き合うと、なんと難しいものだろうと今更ながら、再認識しています。

クオックさんは、2002 年、同じベトナム人のチ

ャウさんと結婚。今、チャウさんのお腹には赤ちゃんがすくすく育っています。年末には、クオックさんはお父さんになります。

チャウさんも曜日は異なりますが、「ひろば」の学習者で、とてもチャーミングな女性です。生まれてくるお子さんもきっとかわいいだろうと、楽しみにしています。お子さんが言葉を話せるようになったら、美しい日本語を教えてあげてほしいと願っています。

春岡恵子さん・

ラティフさん (インドネシア出身・男性)

草の根の異文化交流

ずっと昔、留学先で知り合った韓国人の友達が日本語の勉強を始めたことがきっかけで、日本語教育に関心をもち始めました。日本に帰ってから日本語教育の勉強を始め、その後、中国の山東省青島市の高等学校で日本語を教える機会を得て、1年間働きました。以来、日本語を教える仕事に携っています。自分が普段当然のように使っている母語の日本語が、実は結構複雑な規則で成り立っていることを知り、そんな日本語と格闘されている学習者の方々のお手伝いが少しでも出来ればと思い、にほんごひろば岡本に参加させて頂くことにしました。

一緒に勉強しているのは、インドネシア出身のラティフ・シャブルさんです。現在、神戸大学海事科学部で学ぶ留学生です。今年3月初旬に日本に来て、来年の1月下旬まで滞在の予定です。ラティフさんの趣味は、写真と旅行です。日本食では天ぷらが大好きだそうです。最近見て面白かったドラマは「電車男」で、一度も見なかった私にその内容を詳しく説明してくれました。日本での生活を楽しくしていて、7月2日の七夕会では浴衣を着、初めて書道に挑戦し、「恋人募集中」と書きました。そんなラティフさんは知性とユーモアに溢れ、笑顔が印象的な人です。大変勉強熱心で、一緒に学習を始めて5カ月目に入りましたが、日

本語の上達には目を見張るものがあります。いつも会話が様々な分野へとどんどん発展するので、私はそんなラティフさんの知識の深さと好奇心の旺盛さにいつも良い刺激をもらっています。いつも1時間半があつと言う間に過ぎてしまうほど楽しいです。楽しいだけでなく、ラティフさんとの勉強を通して日本語の奥深さに気付かされることもしばしばで、また日本語だけでなくインドネシアのことなど教わることも多いです。

これまでインドネシアについてほとんど知識のなかった私ですが、このにほんごひろばでラティフさんに出会えたことをきっかけに、伝統文化や言語に興味を持ち始めました。世界にはまだまだ知らない国がたくさんあって、そこには様々な歴史や文化、言語があるということを今更ながら感じます。日本語教育を通じて、別の文化にふれるきっかけが与えられ、自分の気持ち次第でそこからどんどん世界が広がっていくことは大変嬉しいことです。テレビや新聞、書物からでは伝わらない何かが、実際にその国の人々とふれ合うことによって経験的に理解出来るようになること、そんな草の根の交流が異文化理解に繋がっていくとしみじみ実感しています。

これからも楽しく学習を続けていきたいです。

村上祐子さん・

ラハールさん (インドネシア出身・男性)

シンプルに楽しく

何かの役に立ちたい、そう思っていた時にちょうど「にほんごひろば岡本」を紹介していただき、仲間に加えていただきました。

自分が外国語を学んだ時のことを思い出すと、先生の教え方によってはその言葉に対する興味も変わるだろうし、先生の話し方や発音、時には癖なども無意識に移るだろうし、会話の中からその国の生活や文化などを知ることができるだろうし、学ぶ側は言葉を通じて沢山のことを得ると思いますが、先生の立場としては責任が重いなど、

言葉を教えることに対してまったくの初心者の私は、最初はとても緊張しました。

しかし、一緒にボランティアをして下さっているベテランの春岡さんをはじめ、周りで教えてらっしゃる支援者を見ていて、もっともシンプルで私でもできることを見つけました。

「自分が楽しんで、それを表現すれば相手も楽しんでくれるだろう」

私が出会った学習者はインドネシア人のラハール・バリワンギさんです。ラハールさんは現在、神戸大学に留学中で、朝早くから夜遅くまで大学で過ごし、睡眠時間は4~5時間でも元気ハツラツで、バイタリティーに溢れています。



(写真左より；春岡さん ラティフさん ラハールさん 村上さん)

ラハールさんは日本語以外にも数カ国語を話せ、インドネシアでは先生をされているのでさぞかし真面目な人かなと思いきや、インドネシアでも日本でもニックネームは「ドラえもん」、本人もドラえもん好きでキーホルダーや小物をいつも持ち歩いています。休日はホストマザーと出かけたり、日本全国旅行をしたり、餅つき、カラオケ、夏祭り、神社や史跡に美術館、映画や釣りに花火と、日本のツボを押さえながら休日を楽しみ、「好きなものは演歌と刺身と焼酎です！」とワッハッハと笑いながら答える姿は、まるで日本人(いやそれ以上)です。

そんなラハールさんは、本物のドラえもんもびっくりするであろう、色んな知識や話題、笑いのネタがぎっしり詰まった大きなポケットを持つ

ているので、学習中はほとんどテキストを使うことはなく、いつも会話が広がりあっという間に1時間半が終わってしまいます。

「食べ物の好き嫌いもないし、嫌なこともない、日本のすべてが大好き！」と満面の笑みを浮かべて週末の出来事を話してくれた時は、このボランティアをしていて本当によかったと心から思いました。

にほんごひろば岡本は、「おはようございます!」、「また来週!」と支援者、学習者共に元気いっぱい挨拶を交わしているところがとても気に入っています。そしていつの間にか、「支援者」であるべきの自分が、学習者やひろばのみなさんの姿勢を見て「学習者」になっていることに気づかされます。

みんなのひろば

七夕会 2005年7月2日

今年もひろばオープンハウスとして七夕会を行ないました。あいにくのお天気で、学習者の参加が少々少なかったのですが、新しい支援者との交流会も兼ねることができ、楽しいひとときが過ごせました。

昨年同様、七夕飾りを折り紙で作り、短冊に



筆で願い事を書きました。書かれた願い事は、学習者は覚えたての「家内安全」支援者は現実的なもの「結婚したい! お金持ちになりたい!」でしたよ。浴衣も初めて着る学習者が多く、下駄にはとても苦労していました。お抹茶もいただきましたが、今年は大阪自慢の「たこ

焼き」を作って食べました。これはとても盛り上がりました。「見る」のと「やる」のでは大



違いでしたが、形はちょっと悪くても、自分で作ったものはやはり美味しかったようですよ。



学習者、模擬授業のモデルに 2005年9月

「にほんごひろば岡本」の学習者9人が日本語教育研修会の模擬授業の学習者モデルを務めました。



各授業後の感想はみんな「最初は緊張したけど楽しかったよ。勉強になりました」でした。模擬授業の先生たちとも、友達になり、再会を約束していましたよ。

ひろば卒業生便り

額田さんのNZ便り ~ニュージーランドの教育事情(小学校編)~

みなさんこんにちは。私は以前「にほんごひろば岡本」でボランティアをさせていただいておりました額田 優(ぬかた まさる)と申します。ひろばを卒業後、家族と共にニュージーランドに渡り暮らしております。

(先日帰国された際、ひろばで嶋内さんと涙?の再会。写真;嶋内さん 額田さん(右))



ニュージーランドの教育事情(小学校編)ということで、「日本の小学校とはちょっと違うかなあ・・・?」という部分をいくつか紹介しましょう。

入学式がない!

ニュージーランドの小学校では、なんと入学式がないのです。じゃ、どうやって入学していくの??ですが、それは5歳の誕生日を迎えた子供から順次入学していくというわけです。ですから、毎週のように新しい生徒が入学してきます。息子が初めて小学校へ行った日も、先生をはじめクラスの生徒達は何の驚きもなく転入生を受け入れてくれました。まわりの環境などに驚いていたのは“息子本人だけ”だったかも?



寄付って??

小学校は基本的に無料です。そして義務教育です。この点は日本と同じなのですが、ちょっと違うと

ころは「ドネーション」=寄付というシステムがあることです。寄付=任意なのですが、どうもまわりの状況を見ていますとこれは寄付というより授業料かなあ??と思えます。この寄付金は学校によっても異なります。平均では年 NZ\$ 200 = 16,000 円くらいです。中には払わない親もいるでしょうけど、基本的には「寄付をして学校の設備や教育環境がよくなることは子供にとっても良いこと」と考えている親が多いようです。

社長出勤（通学）？

子供達の通学の仕方ですが、ほとんどの場合、親が車で子供を送って行きます。また我が家の場合は、ご近所さんと協力し合って「月曜日は額田家の番、火曜日は さんの番」という風に当番制で子供達を学校まで送って行きます。学校側としては、学校周辺の交通渋滞を緩和する意味からも徒歩での通学を奨励しているのですが、なかなかうまく行っていないようです。ただ帰宅の際はスクールバスという便利なシステムもあります。

車とバスで通学と言うのは、子供達にとってはほんとうに楽で便利な状況なのですが、親にとってはちょっと大変です。バスはもちろん有料です。

こぼれ話ですが、このスクールバスは大手のバス会社が運行しているのですが、大ボケをしてくれるときがたまにあります。ご近所さんの親達とまだかまだかとバスを待っていると、バスの運転手がルートの間違ってとんでもない方向から子供たちが帰ってくる時があります。そんなときは乗客である子供達に誘導されながら、バスの運転手が左に右にハンドルを切り、なんとか元のルートへ戻ってくるのだそうです。のどかだというのか、いい加減というのか。たま～にこんなこともあります。

子供が主役

学校では色んなイベントが開催されます。また何をするにしてもまず、生徒が中心的な役割を担えるように色々なことを進めているように思います。感心したのは、通学時間帯に校門前の横断歩道で、車と歩行者の交通整理を子供達（6年生）が行っていることです。もちろん親あるいは先生が補助としてそばにいますし、自動車を運転する側も、徐行運転するなど配慮はしてくれます。それでも油断していれば交通事故もあるかもしれません。

子供達には危険があることを十分認識させた上で、責任感を与えるために行っているということです。

イベントいろいろ

ニュージーランドならではのイベントもいくつかあります。その一つがクリスマスのイベントです。

教師、生徒、両親、おじいちゃん、おばあちゃん、おじさん、おばさんなど誰でも気軽に参加できるのですが、ここでも主役は子供達です。芝生のグラウンド中いたるところでピクニックが始まり、子供達がクリスマスキャロルを歌います。子供を喜ばせるために、なんと移動遊園地まで来ます。



クリスマス会は夕方から始まります。南半球にあるニュージーランドではクリスマスは真夏で日暮れも午後9時ごろだからです。親も子供も先生達も大いに盛り上がります。ちなみに親はウィングラス片手にダンスまでしています。

授業スタイル

教室の大きさやその造りは日本の小学校とよく似ています。校舎の色がパステルカラーなところだけはちょっと違うような気がしますが・・・教室には机、イス、黒板があります。でも授業中に机とイスはあまり使いません。だいたい、黒板の前に先生が座り、その周りを取り囲むように生徒達は絨毯の上にごろんと座っています。「じゃ、机とイスは何時使うの？」と息子に聞いてみたのですが、絵を描いたり、何か作業をする時は机に向かってするのだ、ということでした。そのほかの時間はひたすら先生の周りで色々と話を聞いたり、話をしたりするのだそうです。それと、教科書と呼べるようなものは数少ないです。毎日の授業ではプリントが配られ、それにしたがって勉強が進められたり、ワークシートのようなテキストを使ったりしています。

これは親から見た目ですが、「あまり勉強！勉強！と教えていないのでは？」とも思えたりします。なぜなら、宿題はめったに持って帰ってこないし、学期休みにも宿題はありません。子供には楽園でしょうが、親にしてみれば、「これで大丈夫??」と思います。しかし、芝生のグラウンドで駆け回っている子供達の姿を眺めていると、「まあ、いいか」と楽観的な気持ちにもなっております。

「ところ変われば・・・」と言いますが、日本とニュージーランドでも、色々と違いはあるものです。そういう違いを今は楽しみながら暮らしております。
(額田 優)

《お知らせ》

額田さんは、現在ニュージーランドのオークランドで留学やワーキングホリデーなどのサポート・アレンジなどの仕事をされています。語学留学からファームステイまで、いろいろな相談に乗っているそうです。誠実なお人柄ですから、興味をお持ちのかたは、以下問い合わせ先を記しておきますので、どうぞ。

E-mail : Maehi@ihug.co.nz

ホームページ : <http://liv-info.web.infoseek.co.jp>

Liv-info で検索可能です。

勝島千晶さんの尾道便り ~ 「おのみち日本語教室から」 ~

勝島 千晶



先日、久しぶりにひろばへお邪魔しました。
私の記憶が正しければ3年ぶりだと思います。場所が変わり、知らない方ばかりで、最初は、知らない教室へ来たような気がしました。でも、西村さんや皆さんとお話をしたりしているうちに、温かく、優しい雰囲気ひろばは変わっていなかったの、何だか懐かしさもありホッとしました。



私は、少し前に選挙で有名?になった「広島6区」にある尾道市の「おのみち日本語教室」でボランティアを始めてこの9月で6年目になりました。

教室がリニューアルして、今の体制になる最初の時から行き始めて、気がつけば最初からいるのは2人になってしまいました。

何か問題が起きるといつもひろばのことを思い出します。

最近ではミーティングなどで「こうしてみたら?」との提案に「あっ。それは 年前にやってみたけど、失敗したから辞めたほうがいいよ」「毎年こんな人がいるからこうしないと」「この時期になるとこうなるよ」などと、未熟な私が今までの経験を活かすという非常事態も起きています。



わたしたちの教室は、

- ・学習者 30～40人 ・支援者 約15人 ・サポートスタッフ 5人
 - ・レベル別グループレッスン(1グループ学習者5～7人:支援者2～3人)
 - ・毎週火曜日 夜7時～8時半
- で、活動をしています。

今、一番の問題は支援者が定着しないことです。夜、仕事帰りに来る人がほとんどで、時には「今日は残業で行けそうにありません」と、ドタキャンをする支援者。仕事が忙しくなり辞める支援者...この2年半、私は何が問題なのかということをつも考えてきました。原因は、支援者同士のつながりがほとんどないということにあったように思っています。同じ教室で毎週顔を合わせているのに、1年たっても名前を知らない人がいるなんて人もいました。「勝島さん、あの方のお名前は何だった?今さら聞けなくて」と聞かれることもあります。

そこで、まず、支援者も学習者も名札をつけることになりました。次に、学習後約10分、スタッフミーティングをすることにしました。それぞれのグループの問題、悩みをみんなで知ることができ、また、ミーティング後も駐車場で電気を消されるまで話をしたりする機会が増えました。8月には2年ぶりに本格的な勉強会をしました。



私たちの教室では昨年のミーティングで決めたあるルールがあります。

「学習者には日本語のシャワーを浴びてもらう」ことです。出来る限り媒介語は使わないことになりました。これには、大きな理由があります。私のクラスは、学習者の一人が最初に「英語を使ったら500円。ここは日本語を勉強する場所だから英語を使いたくない」とクラスのルールを決めました。学習者同士も、もちろん支援者も英語は厳禁です。絵を描いたり、知っている限りの日本語の単語を並べて例

文を作ったり...私もみんなから学んだことがたくさんあります。

人数が多いからという理由で、同じ時期にスタートしたもう一つのクラスは、英語を中心に使って学習していました。私のクラスの人が「あのクラスは英語の勉強をしているの?」と不思議そうに見ていることもありました。1年後、学習者の一人に「同じ時期にスタートしたのに、友達は日本語がほとんどわかるのに、私たちはほとんどわからないから、教室に来るのを辞めたい。でも、教室に来ると友達に会えるから来たいし...」と相談されました。どうしたらよいのかを考えてできたのがこのルールです。日本語だけで支援することは本当に難しいと思います。でも、最近感じていることは、支援者と学習者が協力して学習していけば、何とかなるんだなあということです。時には、よくわからないから質問し



ているのに、それも日本語だけで質問するので、一体何を質問されているんだろう?と悩んだり、説明しているうちに、「あれっ?この日本語は正しい?」と不安になったりもするけれど、そんな時こそみんな真剣になるし、盛り上がっているような気がします。

まだまだ、たくさんの問題を抱えている教室ですが、少しずつでも成長していったらいいなあと思っています。私のわがままかとは思いますが、私は、いつかひろばのように学習者にも、支援者にもホッとできる温かい教室になったらうれしいです。



李 チュウヒョンさん 元気でね

七夕会やクリスマス会では素敵なお主人や息子のケベックさんと楽しく参加してくれた、李さんが9月28日に韓国に帰られました。ご主人の大学での勉強が終わったためです。

李さんは2002年4月からひろばで学習していました。ご主人の趙さんは、神戸大学(旧神戸商船大学)の留学生として、また、ひろばに来ている留学生のお兄さんのような立場で、ひろばにも関わってくれました。

有志でお別れ会を開きましたが、李さんは「この3年半はとっても大変で、韓



国に帰りたい気持ちが強かったけど、今は日本は便利だし、また、来たいと思っています。それから、今まではお金が一番大切だと思っていたけど、一番大切なのは『家族』だということがよく分かりました。主人の卒業論文の初めに、私への感謝の言葉を書いてくれて、とっても幸せです」と満

面の笑みを浮かべて話してくれました。

趙さんの就職先が神戸だといいですね。でも、またきっと逢えると信じていますよ。元気で仲良く暮らしてください。

モニカさん こんなママになりましたよ

NEWS LETTER でも有馬温泉でのびっくり話やスピーチ大会、BBQ での熱々ぶりなど、楽しい一



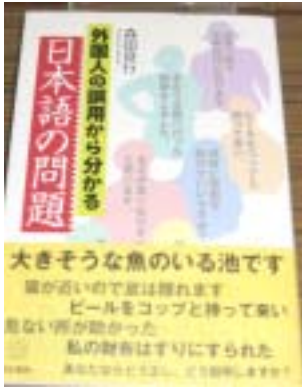
面を見せてくれたモニカさんも二児の母親になりました。先日ご主人の実家に帰省された折、ひろばを訪ねてくれました。たくましいママを写真でどうぞ。

ひろば図書だより

ひろばの本棚に新刊続々

『知っていますか つい間違える日本語』金田一秀穂監修

今だに 惨々 もて遊ぶ 浮き目 濡れ手に泡 等 (これ全部間違いです。)



『外国人の誤用から分かる日本語の問題』 森田良行著

日本に来て三年以内になります
きのう公園へ行った約束をしました
まさか良くなりませんと思います
荷物が重くて持って下さい
私の財布はスリにすられた
身ぐるみ剥がれた

『問題な日本語』北原保雄編

(へんな日本語にも理由がある。どこがおかしい? 何がおかしい?)

おざなり / なおざり いう / ゆう おビールお持ちしました
いただいでください 私って じゃないですか コーヒーの
ほうをお持ちしました っていうか よろしかったでしょう
全然いい 二個上の先輩

これからもいろいろな本を揃えていく予定です。ご希望やいい情報があればお知らせ下さい。



お知らせ

ステップアップ講座を開催！

2 ページでもお知らせしておりますが、今年も昨年同様、以下の予定でステップアップ講座を行います。楽しく和気あいあいの中での講座ですから、これからの学習支援に役に立つと思います。多くの方々の参加をお願いします。なお、1 回ごとの参加も OK です。

日時：10 月 29 日～11 月 26 日（毎週土曜日）午後 1 時 30 分より 3 時 30 分まで 計 5 回

場所：にほんごひろば岡本

費用：500 円（1 回）

使用テキスト：『みんなの日本語初級』33 課～37 課

クリスマス会・スピーチ大会 日時決定！

BBQ パーティーが終わったら、いよいよ今年の最後のイベントです。日時が決まりました。12 月 18 日です。楽しみにしておいて下さいね。今年も楽しいことをたくさん考えていますよ。

スピーチ大会に参加して下さる方はそれぞれの支援者に申し出て下さい。待っていま～す。

CONTENTS

総会報告.....2

支援者・学習者紹介.....3

山中寿子さん・クオックさん

春岡恵子さん・ラティフさん

村上祐子さん・ラハールさん

みんなのひろば.....5

七夕会フォトレポート

学習者 模擬授業のモデルに

ひろば卒業生便り.....6

額田優さん ニュージーランドの教育事情

勝島千晶さん おのみち日本語教室から

李さん 韓国へ

モニカさん 久しぶりのひろば訪問

お知らせ.....12

本棚に新刊続々

ステップアップ講座開催

クリスマス・スピーチ大会日時決定

〔編集後記〕

半年ぶりの NEWS LETTER です。遅れたお詫びに、何と増ページです。読み応えがあればいいんですが・・・

次号は来年早々の予定？です。お楽しみに（I・M）